

広 報

みなみ

MINAMI

Vol. 147

題字揮毫 加賀谷 雪泉



人との出会いを大切に！



校長 白濱 卯

「今になって、なんでこんなことを聞きに来るんだ。」と1年の夏休み明けに数学の先生に質問に行ったときにいきなり言われ、この後、絶望

と怒りに我を忘れてしまい、前後のことは記憶には残っていないのですが、この数学の先生の言葉とその表情だけは今でも心に残っています。しかしながら、今、教員生活の終わりに振り返ると、あの先生には心から感謝している自分があります。私が教職を目指し、ここまで教員を続けてこられたのも、あの言葉に対する反感と怒りが消えなかったからです。高校生の自分は『あの先生の指導は違う。生徒がわからないのだから自分が教師になって見返してやるんだ。』と心に決めた1年の夏。その時は、自分の勉強への取組や授業態度など考えることができませんでした。しかし、教職について同じシチュエーションで生徒に対するときには、自分を振り返りあの先生の気持ちが少しはわかるような気もしていましたが、やはり納得ができていないのも確かです。

その後、私の教員生活は札幌の高校からスタートしたのですが、当時40才を過ぎた酒とたばこを心から愛する数学の先生がよくたばこ部屋で教えを授けていただいたのですが、その先生にうちのクラスの生徒が数学の問題を質問したら怒られたという話をしたら「白濱さん、そういう先生いるけれど、生徒が質問に来て怒る先生はその先生の教え方が悪いんだから。覚えておけよ。進学校だけが全てじゃないからな。」と。

この二人の先生には、本当に今となっては感謝でいっぱい입니다。あれから35年、様々な学校や多くの生徒に英語を教えてきましたが、初心を忘れず努めてきたつもりではありますが、もしご迷惑をおかけした生徒がいれば、申し訳のない気持ちでいっぱい입니다。

さて、今に至るにあたり、自分の人生を振り返ると、大学時代のスキー部での出会いもここまで人生を送ってこられた一因であります。私は、高校まで9年間野球少年だったので、小6で行ったニセコが忘れられず、大学は北海道でスキーをしようとの思いで、大学を受験し、鏡ヶ

丘講習会で浪人した後、小樽商科大学に進むことができた。ただし、念願のデモンストラターを指向する基礎スキー部に入学したので、小樽商科大学よりも基礎スキー部に卒業したという感があります。スキー部の同期は私以外に5人いましたが、今は4名となり。ほとんど交流ありません。本場に体育会系のスキー部で辛く辛く楽しい4年間を過ごした他の同期は、いわゆる大企業に就職が決まり、教員になったのは私だけでした。若い頃は、彼らに引け目を感じたものでした。しかし、時に人生はわかりません。彼らは、バブル経済の終焉、911米国同時多発テロ事件でのワールドトレードセンター崩壊、職場での人間関係、夢の追求などにより、ほとんどが職を失ったり、会社が消滅し転職するなど、大変な時期を経験しました。40才の頃、30代で保険会社を退職し再度大学で学び40才で作業療法士となった一番の友人から「なんだかんだ言って白濱が一番安定してるよなあ。」と言われたことがあります。当時は3人の子育てであまり気にしていませんでしたが、自分的には一般企業の営業職でバリバリ働きたかった思いがありました。

人生は本当にわかりません。ICTが高度に発達した現代では、世界のどこにいてもネットにつながる環境であれば、ほぼ同じ情報を共有できます。私たちの世代が経験したカルチャーショックは消滅し、タイムラグなしに生活を送れる時代となっています。これからの皆さんには、人との出会いを大切に、人生という大航海を続けてほしいと思います。

ところで、高校卒業後、25年が経った頃、県庁で同窓会に出席した際、あの数学の先生と再会を果たしました。動揺しましたが「先生に数学を教わりお世話になりました。」と挨拶をさせていただきました。また、スキー部つながりで紹介されたアルバイト先で知り合った彼女は妻となり、60となった今もお世話になっています。ともに人生を歩んできたことに感謝でいっぱい입니다。

最後に、弘前南高校でお世話になった皆様を始め、これまで出会った皆様に心から御礼を申し上げます。

"Ars longa, vita brevis." Hippocrates

「前途有望」

教頭 川村 真慶



三年次生の皆さん、保護者の皆様、卒業おめでとうございます。

さいいます。高校生活を振り返り、どんな学校生活を過ごせたでしょうか。あつという間に過ぎ去ったと感じた人も多いのではないのでしょうか。これから新たなステージに向か

う皆さんの将来は期待や希望に満ちあふれています。「挑戦」する気持ちさえあればどんなことにも立ち向かうことができます。「挑戦心」を大切に、それぞれのステージで活躍できるよう期待しています。卒業という一つの「節目」を迎えた皆さんが進む世界は、それぞれですが、自ら選んだ道を努力や工夫を重ねながら、自分の道を突き詰めてみてく

これからが勝負

三年次主任 大高 庸平



59回生の皆さん、卒業おめでとうございます。

この3年間、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、様々な「制限」の中で生活を強いられました。その中で皆さんは、日々の学習や模擬試験、課外活動

部活動などに全力で励んできました。その姿に何度か自身が励まされたことかわかりません。またコロナ下で実現できなかった修学旅行・弘前駅朝4時30分というとても早く早い集合時間も旅行中の皆さんのとびきりの笑顔も忘れることはないと思います。これから皆さんは南高での高校生活を終え、次のステージへ進みます。高校生を期待しています。

出会い



卒業おめでとうございます。これまで3人の子の親

としてPTA活動に参加して、広報誌等にメッセージを送ってきました。おそらく今回は最後かと思えます。これまで印象に残る言葉や格好いいメッセージを意識していましたが、今回は少し視点を変え

三年次委員長 對馬 明宏

たメッセージを送りたいと思います。私事になりますが、農業経営して20年になります。当初は水稲とりんご栽培でスタートし、徐々に水稲規模を拡大しながら高収益を計画しておりましたが、思うように収入が伸びません。そんな時、仕事の付き合いの場でシャインマスカットを食べる機会がありました。その当時、どうにも全く興味が無く自分が栽培することは無いと

ださい。十年二十年と年齢を重ね、振り返ったときに自分の足跡がしっかりと残る道を歩んでください。何事も物事をすすめるときには簡単にいかない場合が多いものです。忍耐・「笑顔」・「感謝」の気持ちを忘れず邁進してください。皆さんのこれからの新たな門出と人生に幸多きことを祈念いたします。

活で得た1番大切な財産である仲間とのつながり、それぞれの「夢の実現」に向けて頑張っていくてください。保護者の皆様におかれましては3年間の活動にご理解とご協力をいただき本当にありがとうございます。59回生の皆さんの人生はこれからが勝負です。ご活躍を期待しています。

思っていました。しかしあまりのおいしさに衝撃を受け、すぐに栽培方法を勉強し、数週間後には苗木を植えていました。シャインマスカットと出会って、今では当農園の主力作物になりました。卒業生の皆さんもたくさん人や物に出会えることでしょ。その出会いをどうぞ大切にしてください。

卒業おめでとう がんばります

31 HR担任 古川 大吾



高校生活が終わり、新しい生活が始まります。高校生活では、学

校行事や勉強、部活動を通して、様々なことを学ぶことができたと思います。上手くいったことばかりではないかもしれませんが、成功でも失敗でも経験をを通して学んだ知識や技術は今後の生活でも生かされるはず。その時は「大変だ」ということでも、後になって振り返ると「その経験があつてこそ今がある」と思うことが私自身もよくあります。気力も体力も充実している若い時期にこそ、仕事でも遊びでも趣味でも様々なことに挑戦し、一日一日を大切に過ごしてください。卒業おめでとうございます。

エール

32 HR担任 秋田 奈月



あの坂道を三年間上り、卒業の日を迎えた59回生の皆さん、ご

卒業おめでとうございます。誠に初代校長小野正文先生が校歌について語った言葉をおくります。「『不断の努力』が全てに勝つ。功を焦ってはいけません。自分自身に絶望してはいけません。小さな積み重ねが、ある時、突然に奇蹟を起こすのである。」南高生への熱いエールと愛情を感じます。特に私は「自分自身に絶望してはいけません」という言葉に胸を打たれました。自分の願いは成就に値するものであること、自分には成就させる力があることを信じ、行動してほしいと願います。それを証明するのは小さな積み重ねであり、その不断の努力は人生の坂道を上る助けにもなるはず。ファイター！

まだ見ぬ自分

33 HR担任 土岐 祐子



卒業おめでとう。勉強に部活動に学校行事にと、疾風のごとく駆

け抜けた3年間だったと思います。高校生の一日は大人の一日の何倍も貴重な、かけがえのないものです。みなさんは長い人生の中のたった3年間の日々の思い出を、この先もずっと友と語り合うことになることでしょう。別れは悲しいですが、明るい未来への新たな出発でもあります。人生はむしろここからが本番で、みなさんの未来は可能性にあふれています。まだ見ぬ自分の可能性を追い求め、今後の人生を力強く歩んでほしいと思います。



仲間を大事に世界へ羽ばたけ



59回生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。保護

者の皆様におかれましては、感謝の気持ちでこの時を迎えられたと思います。

コロナ禍で行われた入学式から早3年、学校行事や部活動など数多くの活動が中止

PTA会長 羽賀 克順

縮小されるなど、辛い時や苦しい時もありましたが、卒業を迎える姿・表情を拝見すると非常に充実した学校生活を送ったのではないのでしょうか。これもひとえに、卒業生一人ひとりの努力だけではなく、クラスや部活動の仲間との協力、校長先生をはじめ各先生方のサポートなど、「弘前南高校」がチーム一丸となつて様々な行事に向き合ったもの

かと思っています。これからは一人の大人として、地元や県外、国外など新たなステージで活躍するかと思います。時には大きな壁に立ち止まる場面があるかもしれません。しかし南高校での学校生活、仲間や先生との絆、思い出を糧に壁を乗り越えさらに成長していくと思います。今後も更なる活躍を期待しています。

創立60周年を迎えた皆さんへ



59回生の皆さん、御卒業おめでとうございます。

皆さんは、弘前南高校創立60周年を迎え、様々な記念事業に立ち合うことができました。生徒の安心・安全をモット

育勸会代表理事 尾崎 寿一

ーとした特別教室へのエアコンの設置。卒業生による記念講演。29回生陸上自衛隊弘前駐屯地司令 天内明弘氏による『好き』を仕事にする、50回生フジテレビアナウンサー小山内鈴奈氏による「挑戦の大切さ」でしたが、皆さんの心に響くものがあつたのではないかと思います。吹奏楽部記

念コンサート、野球部招待試合など先輩方から受け継いだ文武両道の精神を南高生として素晴らしいと感じてもらえたのではないのでしょうか。脈々と引き継いできたよき伝統を忘れることなく、母校である南高校を誇りに持ち、今後の更なる飛躍に期待をします。

五十九回生の皆さんへ



栄えある五十九回生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

さいいます。思い出せば三年前、皆さんは高校受験生でした。不安と焦りの中、入学試験を迎えたことと思います。晴れて合格

錫杖会会長 油川 安孝

してから三年間、皆さんは高校生活の中から何を学んだのでしょうか。これまで親の羽の下で守られてきた皆さんは、これから広い世の中に出て行かなければなりません。進む道は違つても、期待と不安が混じり合った気持ちの中で、次のステップへと駒を進めるわけです。高校生活の中でおよそ

二年間は、新型コロナウイルスの感染拡大により十分な活動ができなかったと思いますが、これからは思う存分羽ばたいてください。卒業後の皆さんとの繋がりは「錫杖会」を通してになりますが、毎年七月に総会を開催しています。ホームペー

行動する勇氣

34 HR担任 氣田 知子



卒業おめでとうございませう。春からはそれぞれの選択した道を歩

んでいくこととなります。どんなことが起こるのか今から楽しみにだと思つていらっしゃる皆さん、ただ待つだけではダメです。興味があること、やってみよう。今まで知らなかった新たな世界が広がってくるはず。初めのうちは思うようにいかないとしても、それを自分なりに克服することで自信が付き、更に世界が広がり、次の目標が見えてきます。楽しみですね。これから長い人生、皆さんそれぞれが自分にしか味わうことのできない素敵なものになることを、そして様々な分野で活躍していくことを期待しています。

「卒業、おめでとう」

35 HR担任 山谷 倫子



私は「雨女」である。堀内先生は「雪男」であるという。修学旅行出発

時は雨が降り、帰ってきたら雪だった。それでも現地では好天に恵まれた。思い返せばこの三年間、遠足も運動会も、行事の時はいつも晴れていた。私達はこれを「大高マジック」と呼んでいる。こうして感染予防のために行動制限が多い中で、皆と楽しい思い出をたくさん共有することができた。そんな「大高マジック」から卒業する五十九回生の皆さんへ。人生は晴れの日ばかりではないけれど、雨の日も雪の日も、どんな困難にも負けず、皆さんの人生が楽しく充実したものとなることを祈っている。そして、明るい未来での皆さんの活躍を期待している。卒業おめでとう。

いつやるか、今でしょ！

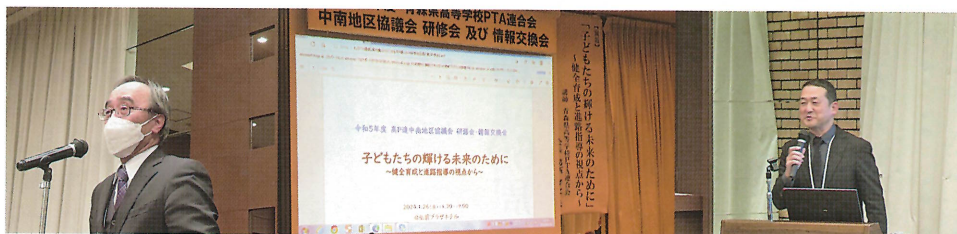
36 HR担任 堀内 善仁



59回生のみなさん、卒業おめでとう。これからの人生、いつ何が

起こるかなど、誰にも分かりません。事故や災害に遭つて、突然人生が絶たれるかもしれない。だからこそ、多くのことに積極的に果敢に挑戦して欲しい。特に若い時こそです。挑戦した結果失敗することもあると思いますが、若い時の大抵の失敗は、「次こそ頑張れ」と周りは許してくれます。私自身、10年前にテレビCMで見た林修先生の「今でしょ」の言葉に背中を押され、様々なことにチャレンジした時期がありました。本当に良い経験を得たと感じています。人生の終わりに、「あれをしておけば良かった」と、後悔の念を抱かない人生を歩んで欲しい、と願っています。





高P連中南地区研修会
1月26日(金)プラザホテル
講師：青森朝日放送株式会社営業局次長
兼営業部長 葛西 孝之氏



研修会に参加して
PTA副会長 三上圭一郎

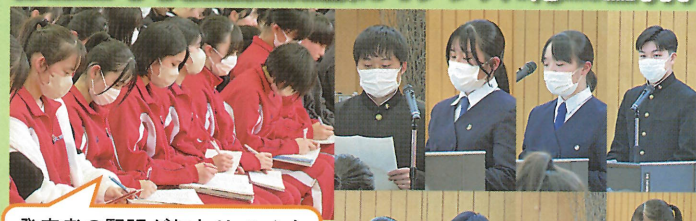
今回の講話で保護者としての取組み方や支援の仕方は大変参考となりました。大学進学にあたり、進みたい学部に対し選択肢があることや学校によってどんなところにメリットがあるかなど調べることも必要だと感じました。受験するにあたり何が必要なのか、受験するにも様々な方法があり、学校によって優先する順番があるということも確認できました。また、遠方の大学を希望する場合はその土地の不動産屋さんや仲良くなるというところも必要なのだと感じました。

中南地区研修会に参加して
一年次副委員長 神 慶子

『子どもたちの輝ける未来のために』健全育成と進路指導の観点から、講師の県高P連会長葛西氏はアナウンサーで、講演は楽しく拝聴いたしました。『広がる大麻県内でも』薬物の誘惑は意外なほど身近に迫っています。『少ない資金で合格を』大学受験の仕組みは複雑で、親子共に情報収集し計画的に臨む事が大事です。大変参考になった研修会でした。

12月～1月の学校行事風景

総合型・学校推薦型選抜ガイダンス1月25日(木)



発表者の緊張が伝わり、みんな真剣な面持ちで聞いています

生徒会による能登半島地震募金活動



やっぱり岩木山



思い出の校舎

4F吹き抜けの玄関ホール

受験生激励会1月12日(金)



放送による教室での2学期終業式12月20日(水)

放送により各教室で



緊張感みなぎる放送室



校長室での賞状伝達後



～広報委員会の活動～

編集後記

『3年間の広報委員会活動を通じて』

今年卒業を迎える59期生が入学したのは、コロナ禍の真只中。入学式はマスクと入場制限。学校行事も制限され、広報委員会をはじめとするPTA活動も最小限でした。

「こんな時代の中で、たった3年間しかない貴重な高校生活を送るなんて、生徒達が可哀想。」そんなふうに思っていました。しかし、広報委員会の取材活動を通して見えてきた生徒達の3年間は、その時出来る最高の創意工夫をしており、毎年違った感動をもらいました。『あたりまえ』に出来ていた事が出来なかった経験は、これからの人生に大きな影響を与える貴重な経験となったと思います。広報委員会を通じて、その姿を間近で見る事ができた事は、私自身にとってもとても素晴らしい経験となりました。

最後に、委員長として至らぬ私を支えていただきました。先生方、副委員長はじめ委員会の皆様へ感謝申し上げます。本当にありがとうございました。広報委員会、最高です!!

広報委員長 今井 陽子



PTA活動を振り返ってみると、五十九回生が入学した時の南高祭は、コロナ禍の影響もあり保護者等への一般公開は中止だったのですが、広報委員は取材活動のため全日程へ参加できたことが貴重な経験でした。

広報副委員長 澤田 宏

コロナ禍は広報の紙面作りにも影響を与えました。前年と同様に、というわけにはいかず、先生からの提案をもとに、一から構成を考へることもしばしば。苦勞した分、完成品を手にした時の達成感はひとしおでした。

広報副委員長 奈良岡 聡子

広報の紙面づくりを通して、学校の活動の様子をより詳しく知る事ができ、大変貴重な経験をさせていただきました。また、委員の方々の写真選びや構成を考えたりなどの時間も楽しく充実した時間でした。

広報副委員長 竹林 ゆき乃

PTA活動お疲れさまでした